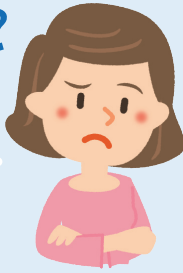


「1日20分読書」運動

～心に残る1冊の本との出会い～

こんなこと
ありませんか？

図書館や本屋へ行きたがらない…



自分から本を読もうとしない…

読書の楽しさに気づかない…

中国には古くから「孟母三遷（もうぼさんせん）」という言葉があります。これは、
「**子どもの教育には、環境を整えることが大切である**」

という意味です。

子どもの成長には、環境が大切だと昔からいわれているんだね。
では、読書環境はどうか、親子でチェックしてみましょう。

家 庭 で

- テレビ・スマホ・ゲームをやめて、読書をする日がある。
- いつも身近に本がある。
- 親子で本を紹介し合っている。

地 域 で

- 地域にある図書館（室）を利用したことがある。
- 地域にある図書館（室）のイベント（お話し会等）に参加したことがある。
- 図書館だよりや図書館のホームページを見たことがある。

学 校 等 で

- 図書館の本をよく借りる。
- 図書館または先生方のお薦めの本を知っている。
- 図書館のイベントによく参加する。
- 参観日等の際に図書館へ行ったことがある。

子どもが生涯にわたる読書習慣を身に付けるためには、乳幼児期から読書に親しみ、小学生期、中学生期、高校生期へと子ども自身がその成長に応じて読書の楽しさを知ることができるよう、読書環境の整備に社会全体で取り組んでいくことが必要です。

（第4次鹿児島県子ども読書活動推進計画より）

